

# 幸区区民会議

## A部会(環境部会)経過報告

平成22年11月10日

### 1. これまでの検討の流れ

第1回全体会議(平成22年7月29日)

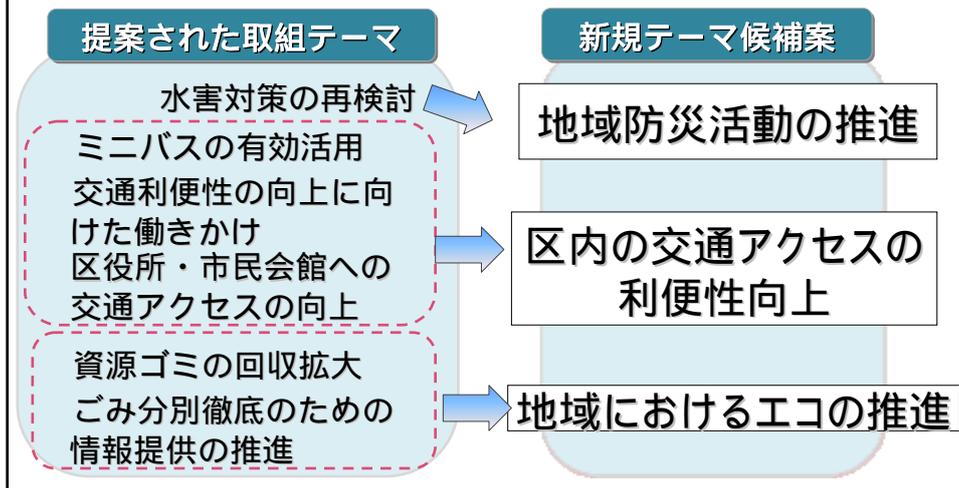
第1回専門部会(9月9日)  
新規テーマの絞り込み  
部会の名称 正副部会長の互選

第2回専門部会(10月6日)  
審議テーマの具体的な検討について

第2回全体会議(平成22年11月10日)

## 2. 第1回専門部会：新規テーマの絞り込み

第1回の全体会のあと、各委員が取組テーマを提案し、下記の3点を新規テーマの候補案とした。



## 2. 第1回専門部会：新規テーマの絞り込み

また、関連する先進事例を収集・整理し、テーマの絞り込みの資料として活用した。

ハザードマップの公表（多摩川、鶴見川）  
川崎市コミュニティ交通導入の支援及び補助金交付による社会実験（川崎市）  
自治会が運営するコミュニティバス（宮前区）  
ミックスペーパー（雑かみ）回収のモデル実施（幸区）  
地域が参加したエコ活動とその啓発への取組（中原区）  
エコシティたかつ推進事業（高津区）

D I G（災害想像力ゲーム）  
自主防災会とボランティア活動を組み合わせた組織づくり（静岡市）  
地域の水害意識啓発への取り組み（葛飾区）

## 2. 第1回専門部会：新規テーマの絞り込み

各委員の提案と、それに関連した事例の資料から、  
テーマの絞り込みを行った

(主な議論)

環境エコの問題は自分たちの身近なテーマである。  
重要な課題である地球温暖化に対して、自分たちが  
できることから取組を始める必要がある。  
ゴミの問題については、ゴミを出す人の意識の啓発  
等が必要である。



### <絞り込んだ新規テーマ>

環境問題をゴミだけでなく、地球温暖化や水害  
等、幅広いテーマで捉える

「地域におけるエコ・環境の推進」とする

## 2. 第1回専門部会

### 部会の名称

部会名は簡潔であることが望ましいとの意見から、  
部会名は「環境部会」とすることとなった。

### 正副部会長の互選

部会長：君和田委員

副部会長：石原委員



### 3. 第2回専門部会： 具体的取組内容の検討

第1回専門部会終了後、審議テーマ(新規・継続)の具体的取組に関し、各委員が意見を事務局に提出した。

各委員の意見に基づき、具体的に取り組む内容の検討を行った。

新規テーマ:地域におけるエコ・環境の推進

継続テーマ:自転車の通行マナーを向上させる  
取り組みの推進

### 3. 第2回専門部会： 市担当課からの情報提供

新規テーマの「地域におけるエコ・環境の推進」に関して、ゴミ・リサイクルの市の取組状況等を担当課から説明を受け、質疑・意見交換を行った。



### 3. 第2回専門部会： 市担当課からの情報提供

( 質疑・意見交換の主な内容 )

- ・川崎市には、三栄レギュレータ東京工場がある。この工場は国内有数の再生技術を持っており、高度なりサイクルが可能。
- ・課題は、モデル地域での回収率が低いこと。また、全体的な広報ができないことも、周知が徹底できない要素。
- ・全市での展開にあたっては、自治会・小中学校等を通じた説明会を特に重視したい。その他、市政だよりなど広報も充実させる。
- ・各家庭がミックスペーパーリサイクルを習慣化していくことも重要。
- ・回収のルールをいかに共有化できるかを重視すべき。
- ・ミックスペーパーの回収が進めば、将来的に既存の焼却炉の数を削減可能。

### 3. 第2回専門部会： 具体的取組内容の方針

( 主な議論 )

#### < ゴミ分別の啓発について >

- ・取り組みの成果について、数値で表せると効果的である。

#### < 自転車マナーの啓発について >

- ・自転車マナーの徹底を行う。
- ・自転車事故（歩行者と自転車）の危険性を訴えていくことについて、引き続き取り組んでいきたい。

#### < 共通する議論 >

- ・まず小学生に教えて、そこから親へと伝えるのが効果的ではないか。
- ・町内会を対象に啓発活動を行った場合、町内会組織の立ち上がらない大規模マンションには伝わらない。





< 具体的取り組み内容の方針 >

**ゴミ分別意識の啓発**

来年度から始まるミックスペーパー回収の全市展開と関連し、区民のゴミ分別意識の啓発活動にまず取り組み、その後より幅広いエコ・環境問題に取り組む



**自転車通行マナーの啓発**

歩行者にとって大変危険である自転車通行マナーの向上について啓発活動を行う